

# 土岐・運・来

ただ今  
ボランティア：39人  
会員：65家族

会報  
発行日  
自然・馬・人の会  
一九九九年五月九日

ですが、日曜日一日だけやつと交代の顔をしているのです。

自然・馬・人の会も今年度で三年目に入りました。乗馬会を繰り返しやって来て、見てきた事があります。馬に乗る研修はどうしたらよいだろうか？ どういう具合に組織作りをしていったらよいだろうか？ とか。でも

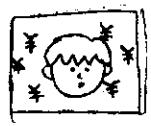
今年は乗馬会が毎月一回は出来るようになつたので、出来る、出来ないの不安がなく乗馬会に専念できます。そしてボランティアに、

さがみ信金の方や、三島の高校生たちが毎回開催しやすくなつてきました。しかし、まだ

不十分なところもたくさんあります。それをしっかりしたものにしていて、様々な情報の交換できる場としての乗馬会、という面を作つていきたいと思つています。

今年度もよろしくお願ひいたします。

代表 桜井広利



馬に乗っている人と声をかけ合い

たり、ある時は馬を引き、ある時はうどんを配つて。馬に乗つて駆け回らず自分の足が駆け回っているのは、はい、私、中村です。

馬に乗つている人と声をかけ合いの時にいつも下を向いて受け付けしている村山ますみです。新たに若い濱本が助けてます。

何度も参加してもばわーんとした様子ですがそろそろしつかりしようと思つてゐる杉村です。（しつかり！会計！）森と竹村がサポートします。なかなか参加できないのですが、今年度はなんとかいい形で関わりたいと思つてゐる高崎です。（よつ！ご意見番！ 福島・川崎共に）

天気予報が見事にはずれ、暖かい春の日差しの中で、今年2回目の乗馬会が行われました。今回は、ボランティアに経験者が多かったです。前回参加した高校生は、新しい友達を誘つて8名でやって来てくれました

乗馬の様子を見ていると、どの子も、どの方も、少しづつ上達しているように感じられました。初めは、クッショーンの支えで乗つていたお子さんが、サイドウォーカー（乗馬している人を両脇で支える人）に支えられながらも、自分で体を起すとしています。緊



乗馬会から

3月14日の乗馬会から

参加人数

当日受付………42人

ボランティア………57人

会員……………93人

会員……………93人

今年度はボランティアの方々と共に馬や乗る人の体・心について理解を深める計画を練つてある北村と天野謙二です。

第七号

と、いうわけで、今年度、気持ちも新たに「よし私がやらねば！」という人や、「何か面白そう」「よくわからないけど、まいづら」という人々が運営委員に名乗りをあげてくれましたのでここで紹介いたします。

1

張気味だった方が、リラックスして笑顔を見せていました。出発、停止の合図を馬に伝えられるよう、手綱操作に取り組む子も何人かできました。自分から、「走つてみたい。」「手綱を持つてみたい」と、やりたい」と

を言える子もいました。

これからは、もっと馬と仲良くなつて、自分で馬に合図を伝えながら乗馬を楽しむ方が増えそうです。ボランティアも、馬を引いたり自分も乗馬をしたりして、かなり馬に慣れました。乗る人も、乗る人を支える人も、両方楽しいのが私たちの目指す乗馬会です。

（演本）

4月4日の乗馬会から

参加人数	会員
当日受付………	34名
ボランティア：	40名

肌寒い日が続いて天気が心配された週末だつたけれど、やつぱり自然・馬・人の会の日は晴れるのです。今日は隣が小田原桜まつりのフリーマーケット会場になり、にぎやかで通りがかりに引き馬コーナーで乗馬した人は153人にもなりました。

が、午前中、毎月楽しみにやつて来て下さる会員の乗馬スペースはいつものように実にならやかにのんびりと時間が流れている別世界のようでした。

遠くには桜、真上に松の大木、そのうしろ

に青い空、……馬上で寝つころがつて上を見ると最高です。「えつ、そんな事出来るの？」

実際には、落ち着いた馬の上でのみ出来る騎乗者の体をほぐすプログラムの一つです。又、最近は馬に乗りながら手放しで「トン・トン・トン・トン、アンパンマン！」などと遊べる子、手綱操作を覚え、真剣なまなざしでスラロームを単独騎乗（ひとりで乗る）の練習をする人、もう速足（はやあし※）も平気で乗りこなし、「走つて、走つて」とサイドウォーカーのお兄さんをゼーゼーいわせている強者ちゃんなど、それぞれの楽しみの方向へむいています。

会も回数を重ねる度に会員同士、関わるボランティアも少しずつ顔見知りになり話もはずんでいます。我が子が馬に乗っている間、他の人の馬に手を貸して下さるお父さん・お母さん。そんな光景をながめながら「この会つて、ゼーハーゼーハーする程刺激的、ではナイ。誰かが仕切つてみんなを盛り上げているわけではナイ。でも、だれもが、この春のよくなやさしい、うれしい出会いや関わりを予感して集まつてくるんだなあ。きっと何かがここから生まれているんだよなあ」と実感したのでした。さあ、来月はどんなエピソードが生まれるのかな？

（まよべえ）

## 小田原市の

### 平成子どもの森公園（仮称）

～～今どうなつてているの？～～

去る四月一日に櫻井と中村で、小田原市公園緑地課の「平成子どもの森公園」担当者に話を聞いてきました。（そちらには、一九九七年度二月に自然・馬・人の会の要望書を出しています）

市から聞いた内容は、以下の通りです。

・子ども達が遊びに熱中出来る公園を作りたい。

・今の子ども達は、動物に直接ふれあう機会が無いので、ふれあえる公園にしたい。

・建物は、一年度中に出来る。

・一年度開園する。

・入札は、管財課が行い、指名参加を行う。

（小田原市が連絡した業者の中、届け出をした業者の中から入札をする。）

・準備予算は、一年度九月か一二月頃の議会で決まる。

・ポニーは、四頭飼育し、常時三頭を表に出して使う。

・業者には、年間を通して管理してもらい、動物は、リースにする。

・駐車場を作る。

・バスの運行をバス会社に頼んでいる。

・障害のある人の受け入れが出来るかどうかは、障害の程度にもよる。付添を頼むかも知れない。

（中村）

## 馬探検 その三

—サドルバック再び—

本当は、一ヶ月に一ペんだけじゃないとも  
つとずーっと、馬といつしょにいたい、そん  
なあこがれをちょびり実現させる為、我々  
馬クラブ（自分達で勝手につくつてそう呼んで  
いるだけ）の面々は、乗馬会の前日よりサ  
ドルバックにおじゃまして、乗馬の特訓（？）、  
そして馬たちと一夜を過ごしてきました。

昼の部・先ず馬のブラシがけと蹄のそろじ  
をしてスキンシップをはかり、その後いよいよ  
乗馬をはじめた。始めはなかなか上手く馬  
を操れなかつたが、徐々にコツがわたり、そ  
こそこ乗れるようになつた。ただ、速足にな  
るといまいちうまく操れなかつたが、ヤギさ  
ん達は、速足でもかなり上手かつた。彼等を  
目指してがんばりたいと思つた。乗馬も終わ  
り、馬にブラシがけをし、餌をあげ、とても  
よい経験をする事が出来たと思う。また、ぜ  
ひ乗りに行きたい。  
(北村)

久しぶりの乗馬でフラフラしながら、馬餌  
までの少しの時間、馬たちとコミュニケーション  
ヨン。「鼻の穴にかーと息を吹きかけると、  
馬の目がトローツとしてくるんだよ」と教え  
てもらつた通り、ロージーの鼻にやつてみた  
けど、くすぐつたかったのか、そっぽを向か  
れてしまつた。四時、皆待つてました、と  
ばかり餌が入れられた飼いおけに首をつっこ

んで食べ始めた。

馬の後は人間のお楽しみディナータイム。

ここから夜の部スタート！ 各自一食五百円

の品々を、馬房に座り込んで、海を目の前にランプひとつの中で食べると、おいしくなつた。食も

話もはずんでいると、突然闇の中からウマと

サルの顔！（実はぬいぐるみをかぶつた少

年たち）が現れ、一気にぎやかな夜へ。そ

して今夜の宿泊先、馬房の上（！）で寝袋に

くるまり、馬房から聞こえる色々な音を子守  
り歌に眠りについた。

朝五時。馬餌。昨晩は思った以上に冷え込  
まず、寝袋にブランケットの寒さ対策をして  
いた私は「あー暑かつた！」の一言で一日が  
始まつた。馬たちも暖かい夜だつた為か、一  
晩中にぎやかに過ごしていた。馬も人も朝食  
を食べ終わる頃、高橋さんの馬の名前を呼ぶ  
声で馬のつみこみ開始。順に馬運車に乗り込  
んで小田原の乗馬会に向かつて出発！ 今日  
も楽しい一日が始まるぞ。  
(リンリン)

### 協賛者・協賛金のお礼

かもめ図書館読書会 様

三坂 勢津子 様

株式会社 古河 様

桜井明子 様 協力 誠にありがとうございます。  
(順不同)



これから予定

・五月二十三日（日）埼玉県東松山市

東松山ライティングフェスティバルにサ  
ドルバックの馬が出向きます。

・五月二十六日（水）

十九時半より桜井宅にて運営委員会

・六月十三日（日）歴史見聞館隣にて自然・馬・人の会 乗馬

会

# 自然・馬・人の会つて？

——こんな活動をしていきます

馬がいる。子どもがいて、おばあさん、

おじいさんがいる。車椅子で来た人が背筋を伸ばして馬に乗っている。仲間とやつて来てサイドウォーカーをやつている若者が声をかけている。馬が駆け出すと歓声があがる。笑顔が広がる。補装具を足につけた子が、ここで出会った友だちとボール遊びをしている。

取りそこの転がったボールを、お父さんお母さんがあわてて取りにいく。豚汁のみその香りが、ぶーんとただよう。昼食を囲むテーブルの向こうで、アサート、カリンバなどの楽器を鳴らして遊んでいる人たちがいる。本を読んでくれる人のまわりで子供が一心に耳を傾ける。

これが小田原の乗馬会の風景です。乗馬会には誰もが参加できます。誰もが同じ場所でお互いに関わりを持ったり持たなかつたりしながら。それでも目のすみにそれぞれを感じながら、それぞれの豊かな時を過ごしている。

そして参加する人はみんなそれぞれ楽しんでいます。そのこと——みんな一緒ということが、今の時代にはとても大切な事だと思うのです。そして、みんな一緒にいるからどんな発想や出来事が生まれてくるのか、とても楽しみです。本当にこれから何かが動き出していくきそうな気がします。あなたもそれをわたしたちと一緒に体験してみませんか。

## 第七号 来・運・岐

### ☆乗馬会

・ほぼ毎月一回

小田原城址公園内歴史見聞館東側にて  
・事前受付：個人プログラムに合わせ、  
仲間と共に継続して乗馬を楽しみます。

・騎乗料：一千円

・当日受付：乗馬が初めての方でも体験できるコーナー。

馬場2周引き馬料：五百円

### ☆小田原市への働きかけ

平成子どもの森公園（仮称）の運営計画に要望を出しています。

### ☆出張乗馬の応援

サドルバックの馬が、他乗馬会、幼稚園のポニー教室に出向く時、会報でお知らせし、協力していきます。  
この会を運営、進行していく為に月一回程度、話し合いを持ちます。

### ——こんなメンバー・

#### 資金で構成しています

☆会員：家族単位で年会費二四〇〇円  
(四月切り替え)会費は、通信費・事務費・印刷費等に使われます。

○・会報(年四回)・乗馬会日程(毎回)をお届けします。

・「家族体験乗馬無料券を乗馬会に参加されたときこ一枚差し上げます。

☆運営委員会・会員の中より自主参加。役割分担をして会の運営にあたります。

☆ボランティア会員・年会費なし  
・会報や乗馬会日程をお届けしますので、ご都合の付くときに参加申し込みして下さい。

・仕事内容・馬を引く。馬に乗る人のサポート。受付・食事作り・テント設営など。

☆協賛会員：この会を間接的に応援して頂いています。  
・協賛金：一口千円(会の運営費・馬具の購入などに使わせて頂きます)

小田原で、もつと身近にもつと楽しく自然と馬と人がふれあい、集えるように広く仲間を募集しています。一緒に楽しみませんか？

### ☆お問い合わせ

〒二五〇・〇〇四五

小田原市城山一・三・二二

自然・馬・人の会代表 桜井 広利

T E L ○四六五・三一・一三〇八  
F A X ○四六五・三一・一三三三

☆年会費・協賛金などの振込先  
便振替口座〇〇二七〇・四・七九九四四

自然・馬・人の会 桜井広利